

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：技能向上対策費

事業名 人材開発支援センターⅢ棟改修工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

工労働部 労働雇用課 職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3126)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 80,053 千円 (前年度予算額：4,192 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,192	0	0	0	0	0	0	3,700	492
要求額	80,053	0	0	0	0	0	0	72,000	8,053
決定額	72,048	0	0	0	0	0	0	64,800	7,248

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

人材開発支援センターⅢ棟は、平成17年にロボットプラザC棟として建設され、平成28年からは現名称に変更し、職業能力開発協会が、プラスチック成形の技能検定会場として射出成形機を2台設置して利用している。

本棟は、建設から15年が経過し、外壁の金属板等の腐食が進んでおり、雨が降ると建物内部に雨漏りが発生する状況であり、現在の状況を放置すれば今後ますます劣化が進み、金属外壁板等の落下により、事故を引き起こす可能性が懸念され、また、内部の雨漏りが一層進行することになるため、改修工事を行う。

なお、本棟から技能検定会場を移転する場合、射出成形機の移転が必要となり、職業能力開発協会が管理する上で、テクノプラザの敷地内での移転が適当であるが、テクノプラザ内には移転可能な施設がないため、改修で対応することが適当である。

(2) 事業内容

全体事業費：84,245千円

令和3年度 人材開発支援センターⅢ棟改修工事実施設計（4,192千円）

令和4年度 人材開発支援センターⅢ棟改修工事（80,053千円）

(3) 県負担・補助率の考え方
県負担

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,500	
工事請負費	77,301	
事務費	252	
合計	80,053	

決定額の考え方

過去の類似事例の落札率を勘案し、所要額を計上します

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担
無

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和3年度に改修工事实施設計、令和4年度に改修工事を完了する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

数値的な指標を設けることは困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	人材開発支援センターⅢは、建設から15年が経過し、外壁の金属板等の腐食が進んでおり、現在の状況を放置すれば今後ますます劣化が進み外壁の金属板等が落下し、事故を引き起こす可能性もあるため改修工事を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	改修を行うことにより、技能検定会場としての機能を維持することが出来る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	適正な建物の維持管理・技能検定の環境を整備することが出来る。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 建物の定期的な保守点検・維持管理が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和4年度で改修工事完了予定。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
